

# 【ねがいましては】

第9号

昭和63年10月25日  
発行 共和珠算塾 新浜

「便戸戸掃除」 浜口 国雄 詩集より

扉をあけます  
頭のしんまでくさくなります  
まともに見ることが出来ません  
神経までしびれる悲しいよごしかたです  
澄んだ夜明けの空気もくさくします  
掃除がいっぺんにいやになります  
むかつくようなババ糞（くそ）がかけてあります

どうして落着いてしてくれないのでしょう  
けつの穴でも曲がっているのでしょう  
それともよっぽどあわてたのでしょう  
おこったところで美しくなりません  
美しくするのが僕らのつとめです  
美しい世の中も こんな処から出発するのでしょうか

くちびるを噛みしめ 戸のさんに足をかけます  
静かに水を流します  
ババ糞におそるおそるほおきをあてます  
ポトン ポトン べんつぼに落ちます  
ガス弾が 鼻の頭で破裂したほど 苦しい空気が発散します  
心臓 爪の先までくさくします  
落とすたびに糞がはね上がって弱ります

かわいた糞はなかなかとれません  
たわしに砂をつけます 手を突き入れて磨きます  
汚水が顔にかかります くちびるにもつきます  
そんな事にかまっていられません

朝風が壺から顔をなげ上げます  
心も糞になれて来ます 水を流します  
心に しみた臭みを流すほど 流します  
ぞうきんでふきます キンカクシのうらまでていねいにふきます  
社会悪をふきとる思いで力いっぱいふきます

もう一度水をかけます ぞうきんで仕上げをいたします  
クレゾール液をまきます 白い乳液から新鮮な一瞬が流れます  
静かな うれしい気持ちですわってみます  
朝の光が便器に反射します  
クレゾール液が 糞つぼの中から七色の光で照らします

便所を美しくする娘は 美しい子供をうむ といった母を思い出します  
僕は男です 美しい妻に会えるかも知れません

◎11月の予定

11月12日(土)	第208回全珠連検定 申し込み締切り
26日(土)	珠算10級～4級 及び 暗算検定本番 当教室
27日(日)	珠算3級以上本番 中央商業高校